

## 物件データ移行手順

2018/3/30

建築確認申請書作成ツールは、バージョン 1.2.0.0 より物件データ保存先を任意の場所に変更したり複数名で物件データ・マスタデータを共有したりできるようになりました。

この機能を利用するにあたって、従来の物件データやマスタデータを新しい物件データ保存先（以下、「移行先」とします）に複数 PC から集約する、もしくは移行する必要があります。

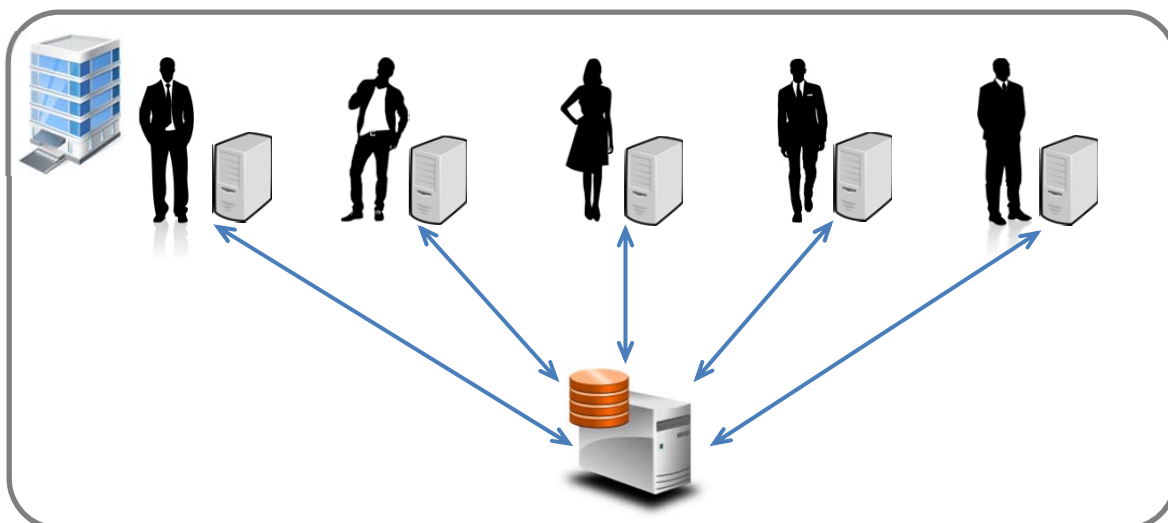
詳細な手順を次ページから説明しますが、大まかな流れとしては①従来のマスタデータ・物件データの抽出→②移行先の設定→③抽出したデータを移行先へ読込、となります。

### 1. 想定されるご利用方法

#### 1) 事務所内で物件データを共有

事務所内のネットワークサーバー等を移行先とすることで複数の方が同じ物件データを共有。編集された方以外の PC でも常に最新の申請書を表示（※）することが可能となります。

**※いずれかの PC で開いている物件は、他の PC では開けません。**



#### 2) 事務所とご自宅で物件データを共有

外付けハードディスクや USB メモリを移行先とすることで、事務所とご自宅で同じ物件データを利用。外付けハードディスクや USB メモリを差し替えるだけで、先ほどまで事務所で編集していた申請書をご自宅で表示することが可能になります。



## 物件データ移行手順

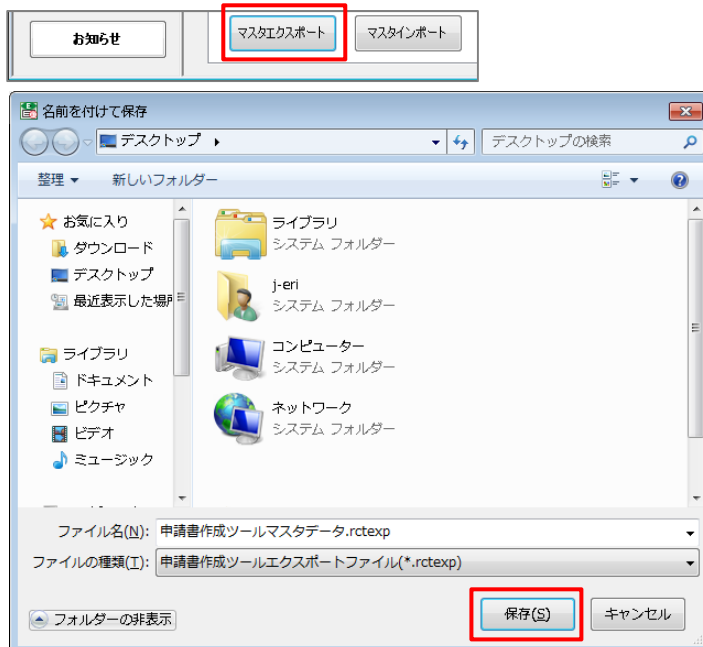
2018/3/30

### 2. 従来のマスタデータのエクスポート

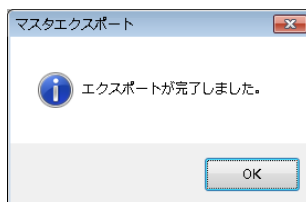
保存先を変更するにあたって従来のマスタデータを抽出しておき、移行先にマスタデータを移行できるようにします。

**※複数 PC のマスタデータを 1 箇所に集約する場合は、全ての PC で下記作業を行ってください。**

- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 画面左側の「マスタ設定」ボタンをクリックします。
- 3) マスタ設定画面が表示されますので、下部の「マスタエクスポート」ボタンをクリックして任意のマスタデータ抽出先と名前を設定してから「保存」ボタンをクリックします。



- 4) 抽出が完了するとメッセージが表示されます。



## 物件データ移行手順

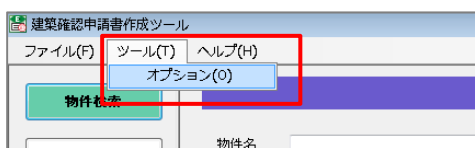
2018/3/30

### 3. 従来の物件データのエキスポート

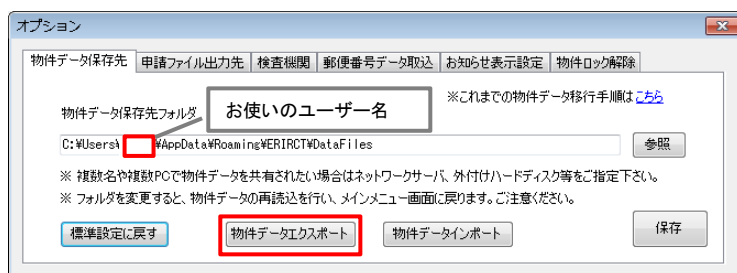
保存先を変更するにあたって従来の物件データを抽出しておき、移行先に物件データを移行できるようにします。

**※複数 PC の物件データを 1 箇所に集約する場合は、全ての PC で下記作業を行ってください。**

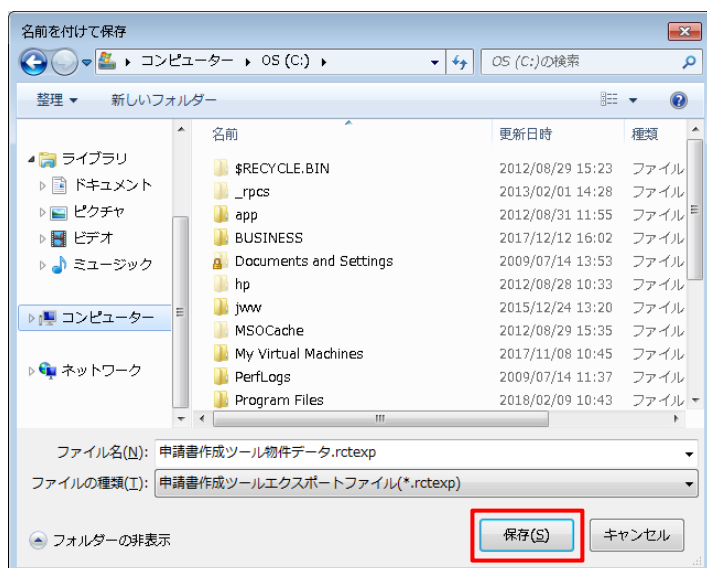
- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。



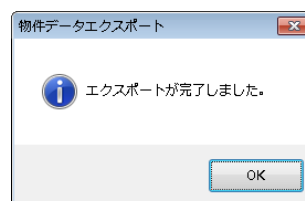
- 3) 現在の物件データ保存先が表示されますので「物件データエキスポート」ボタンをクリックします。



- 4) ファイルの抽出先設定画面が表示されますので、任意の保存場所と名前を設定してから「保存」ボタンをクリックします。



- 5) 抽出が完了するとメッセージが表示されます。



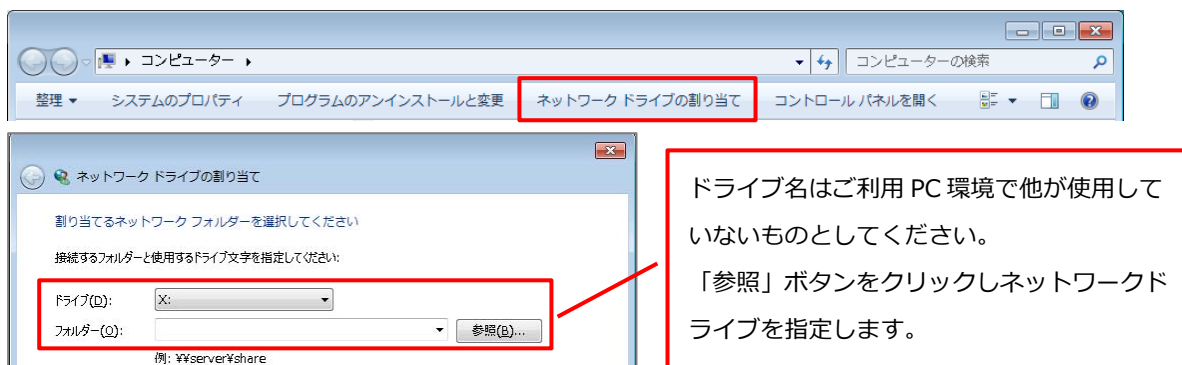
## 物件データ移行手順

2018/3/30

### 4. 物件データ保存先の変更

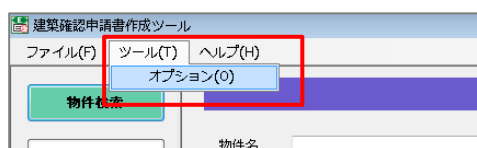
新しい物件データ保存先（移行先）を設定します。ご自身の利用状況により PC 内、ネットワークサーバー、外付けハードディスクや USB メモリを自由に選択します。

**※ドライブとして認識できる場所のみが対象となります。ネットワークサーバーを保存先とする場合は事前に「ネットワークドライブの割り当て」を行なってください。**

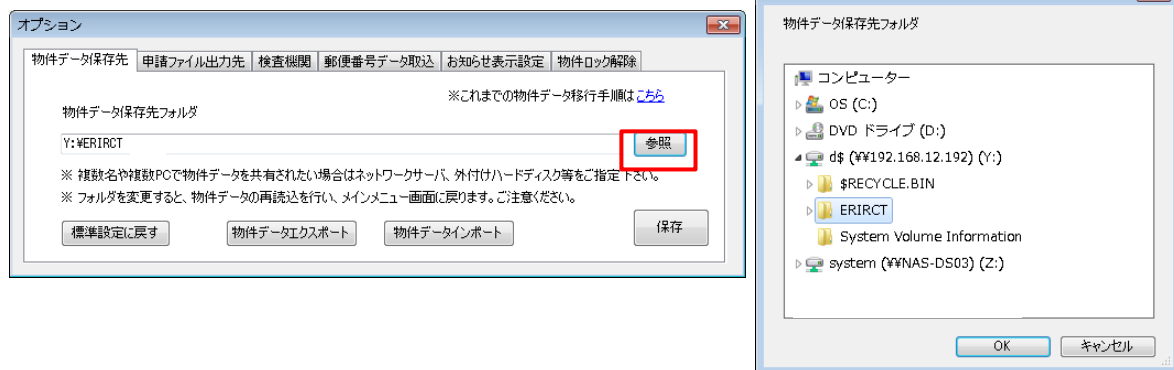


**※保存先のフォルダは、このタイミングでは作成できませんので、事前に準備してください。**

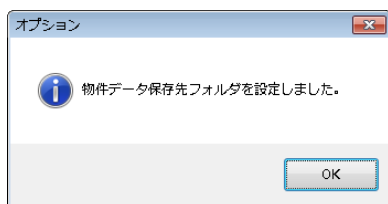
- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。



- 3) 物件データ保存先が表示されますので「参照」ボタンをクリックして、新しい物件データ保存先を選択します。



- 4) 設定が完了するとメッセージが表示されます。



## 物件データ移行手順

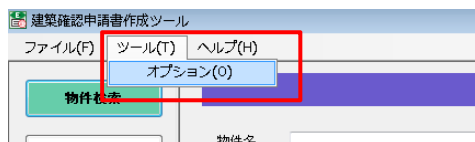
2018/3/30

### 5. 従来の物件データのインポート

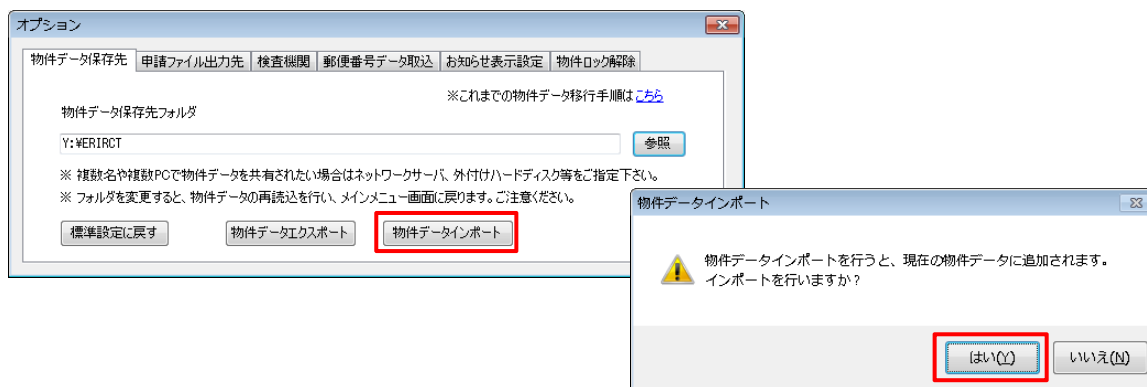
先ほど抽出しておいた物件データを、移行先に読み込んで移行します。

**※複数 PC の物件データを集約する場合は、抽出したファイルを全てインポートします。**

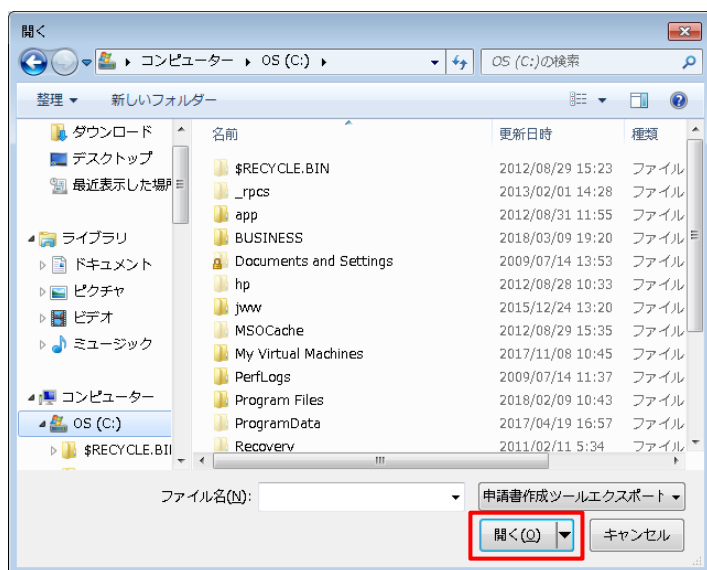
- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 左上部メニューの「ツール」→「オプション」を開きます。



- 3) 「物件データ保存先」タブに移行先が表示されますので「物件データインポート」ボタンをクリックし、物件データを追加する旨のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



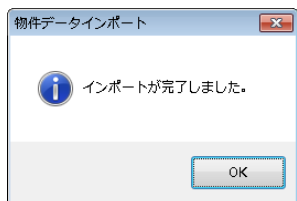
- 4) インポートするファイルの選択画面が表示されますので、先ほど抽出したファイルを指定し「開く」ボタンをクリックします。



## 物件データ移行手順

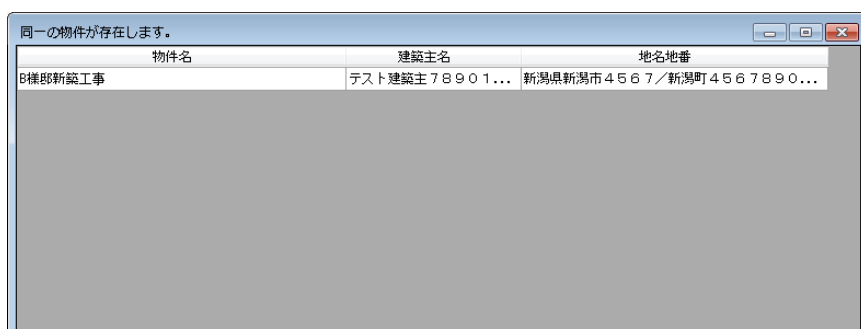
2018/3/30

5) インポートが完了するとメッセージが表示されます。



6) インポートした物件に既に存在する物件が含まれていた場合はダイアログが表示されます。複数 PC で同一物件の編集を行っていた場合は、最終的な申請書データを残して、残りは削除するようにしてください。

※「物件名」「建築主名」「地名地番」が一致するものがないか照合しています。



※同一物件チェックは物件検索画面からも実行できますので、後日改めて確認することが可能です。

物件データの移行処理は完了しましたので、物件検索画面で全ての物件データが表示されることを確認してください。

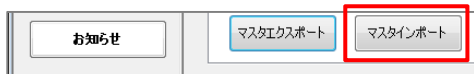
※申請書作成ツールを起動した時点や「物件検索」ボタンをクリックした時点では、「最近更新した 10 件」のみが表示されますので、**検索条件なしで「検索」ボタンをクリック**して全件を表示して下さい。

## 6. 従来のマスタデータのインポート

先ほど抽出しておいたマスタデータを、移行先に読み込んで移行します。

※複数 PC のマスタデータを集約する場合は、抽出したファイルを全てインポートします。

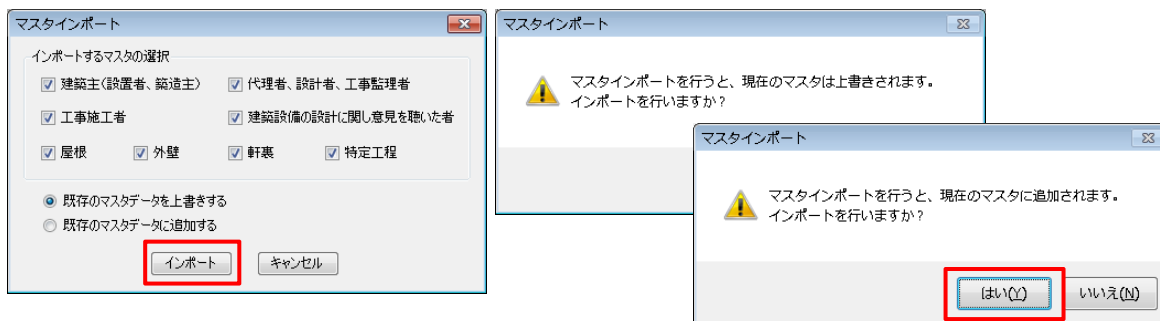
- 1) 建築確認申請書作成ツールを起動します。
- 2) 画面左側の「マスタ設定」ボタンをクリックします。
- 3) マスタ設定画面が表示されますので、下部の「マスタインポート」ボタンをクリックします。



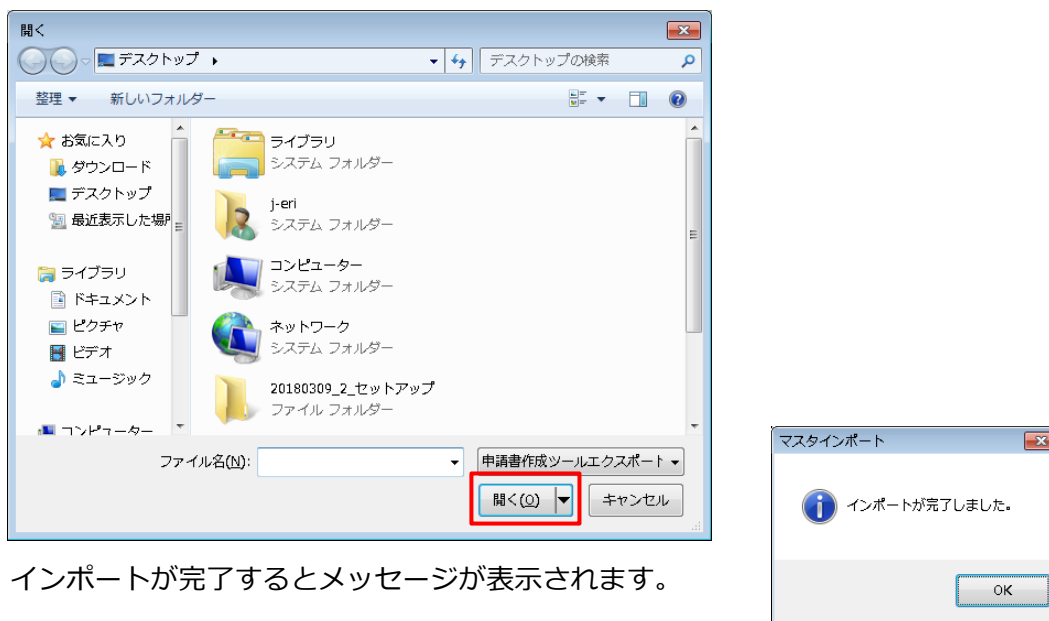
## 物件データ移行手順

2018/3/30

- 4) マスタインポート画面が表示されますので、インポートするマスタ、次に既存データを「上書き」するのか「追加」するのか選択してから「インポート」ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックしてください。



- 6) インポートするファイルの選択画面が表示されますので、先ほど抽出したファイルを選択し「開く」ボタンをクリックします。



- 7) インポートが完了するとメッセージが表示されます。

マスタデータの移行処理は完了しましたので、マスタ設定画面で移行したデータが表示されることを確認してください。

※ネットワークサーバー等を保存先とし物件データおよびマスタデータの移行が完了した場合、他のPCでは「4. 物件データ保存先の変更」を行なうだけで、同じ物件データやマスタデータを表示することができるようになります。

※物件データおよびマスタデータのエクスポートは、バックアップ機能としてもご利用頂けます。

以上